

日本の自動車整備技術をミャンマーへ

－自動車整備教員が京都で技術研修に参加－

国際協力機構（JICA）が実施中の「TVET（職業技術教育・訓練）の質的向上」プロジェクトで本年12月の開校に向けて準備中の日本ミャンマー・アウンサン職業技術訓練学校（JMASVTI）より、2名の自動車整備教員が7月24日に来日し学校法人京都中央学院〈専〉Y I C京都工科自動車大学校で2週間、日本式自動車整備技術の研修を受講します。



ミャンマーは2011年の民政移管後、経済改革が進み経済成長率は6%前後の高い水準を維持しています。産業セクター構成も農業セクターから工業・サービスセクターへ比重が移行してきている中、産業界が必要とする技術労働者数不足が課題となっています。自動車登録台数も増加傾向にあり特に日本車が多いことから、日本の自動車整備技術を学んだ技術者育成がミャンマー政府からも期待されています。この機会に是非取材をご検討下さい。

取材可能日は以下のとおりです。（日本語－ミャンマー語の通訳が入ります。）

日時	内容
7月29日（月） 7月30日（火） 9:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・計測練習 ・教育手法の理解 ・パネルを使用した異常検知システムの理解 ・マイコンにプログラムを作成しエンジン異常検知の理解を深める ・車両を使用し故障探究の理解を深める
8月5日（月） 9:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・計測練習 ・モーターの仕組み理解 ・ステップモーターの理解とプログラム作成 ・PWM制御の理解とプログラム作成 ・オートエアコン研究

JICAプロジェクト詳細URL

<https://www.jica.go.jp/myanmar/office/information/press/181218.html>

【本件に関する問い合わせ先】

◆JICA関西業務第一課

宮下えりこ

TEL:078-261-0383

e-mail : Miyashita.Eriko@jica.go.jp

◆当日の連絡先

〈専〉Y I C京都工科自動車大学校

副校長補佐 西岡 正

TEL: 075-371-4040